

# うらやす A-Life

ひとひと  
女と男が認めあい共にかがやくまち・うらやす



## 特集

### 10年後の浦安、どういう まちにしたいですか？

浦安市が目指す男女共同参画社会は「女と男が認めあい共にかがやくまち」。市民のみなさんに聞きました。



宮田和美さん  
(60代 入船在住)

ひとりぼっちが  
いないまち

第7期浦安市男女共同参画推進委員  
関東シニアライフアドバイザー協会理事  
「1年前の定年まで、浦安には寝に帰るだけの仕事人間」だったという宮田さん。定年後は高齢者支援の団体を手伝う。

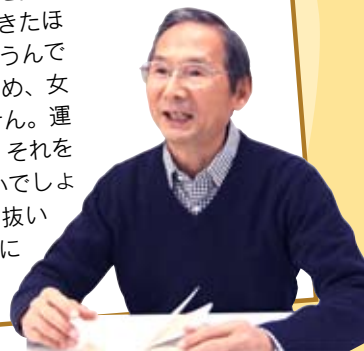
男女共同参画推進委員に応募しましたが、「男女共同参画」って、そんなに強調すること？という思いはありました。でも、会議では高齢者、障がい者や外国人が震災のときにどうしたのかまでも話が及びました。男女共同参画は、人権に関することだと思いました。震災で再確認された絆ですが、大げさなことでもなく、「両隣の家族構成を知っている」そんなゆるやかさもよいと感じています。そのつながりが高齢化していく浦安を支える大きな力になるでしょう。「孤独死」なんてことが無いまちにしたいです。

第7期浦安市男女共同参画推進委員  
子どもたちが9歳と12歳のときに妻と死別し父子家庭となる。男性ながら女性の気持ちもわかると男女共同参画推進委員に応募。

自然体の  
女性が活躍

平野 武さん  
(60代 高洲在住)

父子家庭になるまでは、毎日残業。これでは子育てができないと思い、職場を変えました。家事は一切妻まかせだったので、料理には困りました。食事は生活の基本、料理だけはできたほうがよいと周りの男性によく言うんですよ。今、女子サッカーをはじめ、女性の活躍もめずらしくありません。運送業で働く女性も見かけます。それを女のくせにとは思う人はいないでしょう。でも、もう少し肩の力を抜いても、女性が活躍できるまちになるとよいですね。





小田知宏さん  
(30代 北栄在住)

いろいろな人が関わりあう

NPO 法人発達たんばく会代表  
地域の発達障がいの子もたちのために力を尽くす。自身も7か月と2歳の子どもを持ち、積極的に育児に関わる。「育児は楽しいなんて、言えないです」と笑う。母親の大変さもよくわかっている。

女性と男性はもちろんですが、障がい者と健常者、子どもと大人と高齢者、いろいろな人が関わりあうまちにしたいですね。今サポートしている子どもたちが、将来はかがやくまちの中心にいるでしょう。彼らは社会を変える力をもっています。障がい者は支えられるだけではなく、地域の人により影響を与えられる存在ですから。

もっと国際的なまちに  
Be a partner with foreigner

泉 彩香さん  
(10代 入船在住)



稲毛高校国際教養科3年  
4月から大学生。将来は夢を与える仕事に就きたい。カリフォルニアのピクサーで働くのが目標。

ホストファミリーとしてテキサス州の高校生を受け入れました。彼女とまちを歩くとじっと見る人や振り返る人がいて、肌の色が違うことがまだめずらしいのだと思いました。10年後は人種の違いを自然に受け入れられるまちになってほしいです。研修でカナダに行ったとき、浦安の人口から歴史までいろいろな質問をされました。国際交流には自分の身近なことを知ることも大切だとわかりました。

ひろざね  
廣實憲治郎さん  
(80代 北栄在住)



高齢者がいきいきとしている

パーソナル・アシスタントとも ケアスタッフ  
現役時代は高度成長期の真っ只中。朝から晩まで駆け回りっていたが、会社経営にあたって70代初めに病で身を引く。すぐに回復、今度は地域に役立つと考える。80歳になった今もケアスタッフとして、障がい者のサポートにあたる毎日。

浦安もこれから高齢者が増加するでしょう。そのことがまちの活性化につながるかとよいですね。そのためには、高齢者自身の自立が必要でしょう。もうひとつの「自律」も忘れてはいけません。「自分のことは自分です」「社会や人に甘えない」。さらに弱い人に手を貸せる存在でありたいですね。

第7期浦安市男女共同参画推進委員 会社員  
8歳1児の母。ファミリーサポートを活用したり、ママ友等地域のサポートを受けながらフルタイムで働く。子どもを持ったことで、地域に関心が向く。男女共同参画に代わるよい言葉がないかと思案中。



新井佳美さん  
(40代 富岡在住)

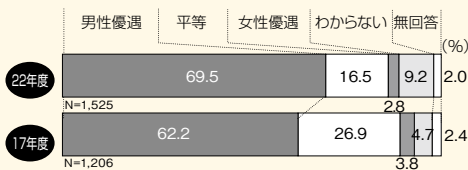
「子育てがしやすいまち」に加えて、「子育てしながら、働きやすいまち」になるとよいですね。10年後は今より働く女性が増えるでしょう。仕事と家庭の両立は大変ですが、仕事にはやりがいとか、収入以外にも得るものが多いです。子育てしながら働くためには、家庭内で家事や子育てをシェアすることはもちろん、地域のサポートを得ながら、子育てができるとなおよいですね。核家族が多いなか、祖母世代との関わりは貴重です。女性が安心して、いきいきと働くことができるまちになってほしいです。

仕事も育児もみんなでシェア

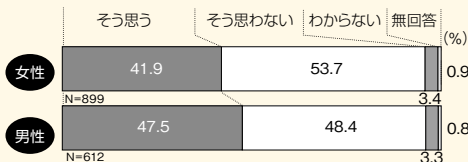
男女共同参画の  
はてな

働く女性は増えたとし、積極的に育児をする男性も見かけます。それでもまだ男女共同参画社会になっていないの？

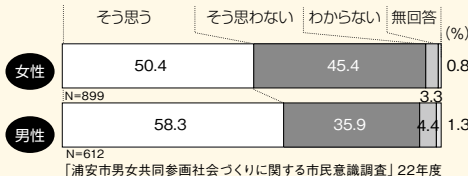
社会全体を男女平等と感じる人はこの5年間で減っています。



「妻は家庭を守り、夫は外で働く」という性別で役割を決める考え方について、そう思わない人が半数近くいます。



でも、「女性は仕事を持つのはよいが、家事・育児・介護はきちんとするべきである」と思う人が半数を超えます。



仕事を持つことの前提として、女性にだけ家事・育児・介護をきちんとこなすことが求められる状況では、真の男女共同参画が実現しているとは言えません。

第7期浦安市男女共同参画推進委員 うらやすWoman's NET代表  
9か月、3歳、11歳の3人の子育てをしながら、「認定子育てアドバイザー」の資格を取得。女性プラザに関わった人たちのネットワークづくりを目的にうらやすWoman's NETを立ち上げ、ほかにも2つの地域活動に参加。公民館や行政の委員等も務める。

子育てをして感じることは、いいママにならなきゃというプレッシャーです。きっと周りのママたちもそうじゃないのかな。私は「子どもがいるから」という言い訳が嫌でいろいろなことに挑戦してきました。少し前から、ママ友グループでハワイアンリボンレイの制作販売も始めました。「子どもが小さいのに」という声も聞こえてきます。親が自分の世界を持つことは、子どもにより影響を与えられると思うのですが。それを見守ってくれるまちになるとよいです。

池島可奈子さん  
(30代 富士見在住)

ひと  
他人を  
見る目が  
あったかい





石津伸さん  
(50代 猫実在住)

みんなに居場所  
と出番がある

特定非営利活動法人チャイルド広場代表  
フィットネスクラブのインストラクターという仕事を辞め、  
「自然体験塾」等、子どもの遊び場を提供する今の活動を妻  
と始める。自身の子育て中、子どもだけの世界が作れない社  
会になっていることに気付いたことがきっかけ。

20年近く地域で活動をしていると、昔、関  
わった子どもたちが成人し手伝いにきてくれて、  
ちょっとした異年齢交流が生まれています。また、  
親子体操に参加してくれたお母さんが学校の先生  
だったとか、地域にはキャリアのある女性がたく  
さんいます。そんな女性たちが、スタッフとして  
活躍してくれています。オーケストラやバンドの  
ように、みんなに居場所があり、出番がある。浦  
安全体がそんなまちになるとよいですね。震災、  
原発事故、経済問題等々、先の見えない状況が続  
いています。10年後は一体どうなるんだろうと  
思います。そんなときこそ、みんなが少しずつで  
も声をあげることが大事だと考えます。市民活動  
も今は女性ががんばっている現状ですが、もっと  
男性の視点が必要になるでしょう。

淑徳大学 教育福祉学科3年  
子どもと接することが好き。この3年間、浦安市の児  
童育成クラブで夏休みに指導員のアルバイトをする。

宮路勇太さん  
(20代 北栄在住)

生まれたときから住んでいる浦安が大好きで  
す。保育士を目指していたこともあり、児童  
育成クラブの手伝いをしましたが、地元に恩  
返ししたいという気持ちもありました。震災  
の時には中学時代の友人たちと泥かきのボラ  
ンティアをしました。地元を大切に思う人が  
もっと増えればよいです。



男だから  
女だからに  
しられない

英会話講師

ブラジル人日系3世。貿易会社の日本支社に勤めるた  
め、生まれ育ったブラジルから日本に移ったのが24  
年前。日本人の夫と結婚し、2人の子供を持つ。



郷美季  
ロゼリーさん  
(40代 猫実在住)

私の知っているブラジルの女性たちは、結婚や出  
産で仕事を辞めません。ブラジルの職場は子育て  
に理解があるし、家庭でも母親だけが家事をする  
ことはありません。長男を日本で出産し、1歳の  
ときに仕事に復帰。でも、残業ができなかったり、  
病気で急に休むと、「だから子どもがいる人は」と  
いう雰囲気でした。体調を崩し、やむなく退職。  
フルタイムで働き、帰宅してからも家事をこなす  
日本人女性を心から尊敬します。ふたりの息子の  
ためにも、「女性は働き続けられ、男性は早く家に  
帰る」、そんな社会になってほしいです。女と  
男と書いて、「ひと」と「ひと」と読むのを不思議  
だなと感じます。それは当たり前のことですからね。

専門家  
にきく

ひと ひと  
女と男が認めあい共にかがやくために

小玉亮子氏

お茶の水女子大学大学院  
人間文化創成科学研究科教授  
第7期浦安市男女共同参画  
推進会議委員長



第7期浦安市男女共同参画推進会議では、市  
の現状や課題を議論してきました。その内容を  
盛り込んだ行動計画（第2次うらやす男女共同  
参画プラン）が4月から実施されます。行動計  
画は旗印のようなもの。「男女共同参画社会の  
実現」という目指す地点のために何をすべきか  
ははっきりと見えることに意味があります。

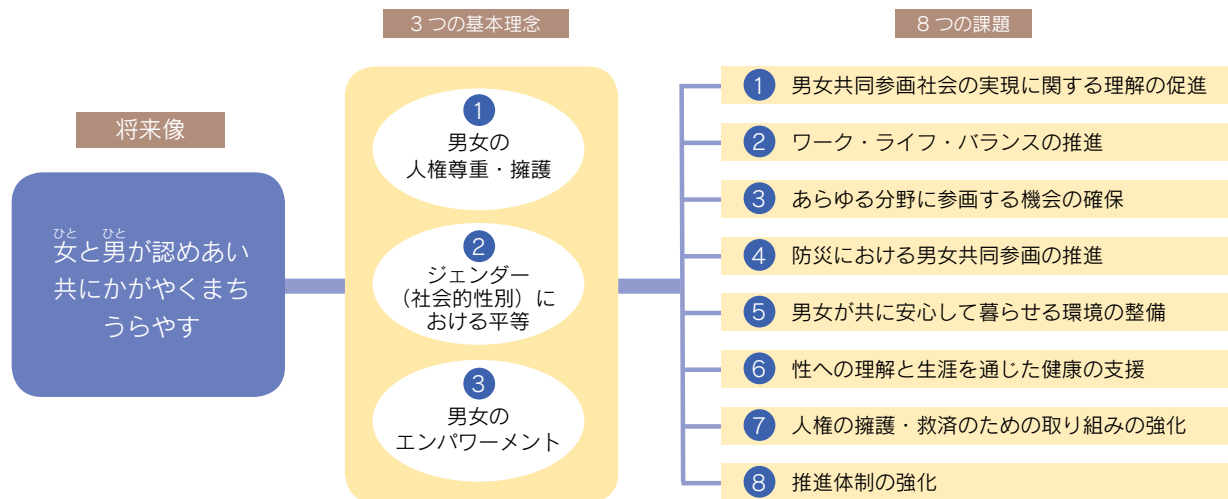
推進会議の委員長を務め、浦安市のイメージ  
が変わりました。ニュータウンに住み、千葉都  
民と呼ばれる人たちが多くまちを想像していま  
した。けれども、地元密着の活動をしている人  
等、いろいろな人がいるのだとわかりました。  
目指す将来像に「女と男が認めあい共にかがやく  
まち・うらやす」とあります。国の男女共同  
参画推進連携会議や横浜市の男女共同参画審議  
会の委員を務めた経験からも、市民や民間の力

の大切がわかります。パワーが大きいほど、推  
進力が上がるのです。市民がグループ等を作っ  
て活動するのもよいでしょう。4キロ四方のコ  
ンパクトな市と聞きました。ですから、問題解  
決のためには、隣の家のワーク・ライフ・バラ  
ンスを考えつつ、近隣の市や県ともつながって  
いくというように、活動の幅を大きくとらえる  
ことが必要でしょう。

まだまだ、女だから、男だからと個性をつぶ  
してしまう場面があるように感じます。先日、  
ある映画監督の「世界はたくさん、人類はみな  
他人」という言葉を聞きました。「多様な世界  
があり、いろいろな人がいる。それぞれの個性  
を大切にしよう」という意味があるのだと思い  
ます。簡単なことではありませんが、「認めあ  
うこと」に尽きるでしょう。

## 平成 24 年 3 月、第 2 次うらやす男女共同参画プランができます！

男女を問わず、すべての人がお互いを尊重しあい、それぞれの能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現のため、浦安市は 2002 年度に「うらやす男女共同参画プラン」を策定しました。この計画期間終了に伴い、「第 2 次うらやす男女共同参画プラン」を策定し、新しい時代に即した男女共同参画社会の速やかな実現を目指します。



### 計画期間

このプランは基本計画と実施計画からできています。

#### 基本計画

2012 年度～2021 年度の 10 年間

#### 実施計画

前期 2012 年度～2016 年度

後期 2017 年度～2021 年度

の各 5 年間

\* 中間年の 2016 年度に事業等を見直します。

### このプランのポイント

#### 1. 防災における男女共同参画の推進を目指して

東日本大震災のあと、「余震の不安や放射能汚染が及ぼす影響から子どもを守るために、物理的にも精神的にも平時よりも多くの負担が母親に集中。結果として女性が働く環境から遠ざけられた」等の声が寄せられ、\*性別役割分業意識が根強く残っている実態が改めて浮き彫りになりました。また、防災計画作成の段階で女性の参画が不可欠であることも認識されました。そこで、被災者となった市民の声を真摯に受け止め、その体験を活かすプランとします。

#### 2. DV 施策に関する基本計画として

このプランを DV 施策に関する基本計画と位置づけ、被害者の保護・自立支援のための機能・体制を強化し、女性への暴力の根絶に努めます。

\*「男は仕事、女は家事・育児・介護」というように、性別で固定化された役割のこと

## 女性プラザ information

### 利用案内

女性プラザでは、講座の開催や図書の貸出し等を通じて、情報提供を行い、市民の交流・ネットワークづくりを支援しています。

#### 相談

女性が抱えるさまざまな問題を自ら解決するための支援をしています。

■ 女性のための相談（予約制・第 1～4 の月・火・木）

■ 女性のための法律相談（予約制・月 2 回）

#### 開所時間

月～金 8:30～17:00（土・日・祝・年末年始休み）



◀ 図書貸出し  
1 人 3 冊まで、  
2 週間貸出して  
います

外観▶  
文化会館 2 階  
にあります



◀ 相談室  
個室で相談が  
受けられます